

KFCと尚絢学院大がつくる名取のメディア

ハナモト通信

2016年7月

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絢学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991



宮城農高

被災地観光地化プロジェクト

地元食材で地域笑顔に

東日本大震災で被害にあつた方々に、地元の食材で笑顔を届ける目的で作られた「被災地観光地化プロジェクト」に、宮城県農業高校の農業経営者クラブに所属する生徒9人が取り組んでいます。

●復興のシンボルを

その中の一つに、花が伸び続ける特性と「あなたを救う」という花言葉がある蕎麦を使った「蕎麦アート」があります。

二種類の蕎麦、赤い花「高嶺ルビー」と白い花「信州大蕎麦」を組み合わせて大きなハートや星形の地上絵をつくり上げ、一年を通して



写真①打合せをする生徒、企画への熱い思いを語ってくれた。手前は青田記者。写真②プロジェクトのメンバー

て名取市の復興のシンボルとして、観光客や仙台空港を利用する人々に上空からの景色を楽しんでもらうというプロジェクトです。

●地元企業と「コラボ

「蕎麦アート」のほかに、地元の食材を使った商品も開発、レストランHACHIIさんと共同開発した「もち豚100%ハンバーガー・宮農みそ焼き仕立て」や、ジエラートショップNATURALINOさんの

コラボでは、震災で唯一生き残った牛の子孫のミルクで作られた「農高フレッシュミルク」が販売され、震災後に始めて自分たちで作

ったジャムやマーマレード、リンゴジュース、ケチャップ・味噌なども仙台市のホテルで販売されました。

●メンバーの思い

プロジェクトメンバー代表の山根正博先生(38)は、「商品開発を通して名取市内の名産を増やし、それらの活動が結果的に地元の観光につながり、生徒たちの進路先や就職に結びついてくれたらうれしい」と話しました。

御崎真由さん(17)は、「企業の方との共同開発はとても勉強になりました。大変なときもあるが商品開発自体は、想像した商品成形にしたり、自分の考えが反映される時はやりがいがある。将来は、農業高校で学んだことを生かして、パティシエを目指したい」と話してくれました。

(青田汐里)

津波に耐えた

下増田神社

東日本大震災で被災した名取市北釜地区には、甚大な津波被害に耐え、流されることがなく残ったという下増田神社があります。大同年間(806年〜810年)

に創祀(そうし)されたといえられる下増田神社は北釜地区のシンボルの一つでした。春祭りや秋祭りでは住民が一同に集まり食事を囲い談笑したり、新嘗(いなめ)祭では子どもたちの元気な掛け声が響きました。

住民の憩いの場であった下増田神社が激しい揺れに襲われた2011年3月11日。揺れの直後に襲った津波により鳥居や社務所は流出。しかし、本殿と末社はその場に鎮座するように残りました。



案内して頂いた高橋さん

当時、町内会長を務め、神社の近くで避難誘導を行っていたという高橋茂信さん(73)は「基礎とポルト

が固定されていない神社や末社が流されず残ったことは奇跡としか言いようがない」と話します。高橋さんも避難誘導中、津波に襲われ神社隣の寺院の屋根で一夜を過ごしました。避難生活中は辛いことや悲しいことも多くありましたが、「が



みなさん初めまして！5月からパーソナリティを務めている吉江有希子です。明るく元気を持ち味に、聞いていて笑顔になる放送を目標にして取り組んでいます。

私はこれまで青森県のテレビ局の報道記者として、事件・事故、スポーツ、そして震災：様々な事を取材して伝えてきました。その後、石巻市に移り住み、復興支援のNPOで仮設住宅や漁業支援などを行ったほか、ラジオ石巻で番組も担当していました。なとりで

「んばれ」という言葉に何度も助けられ、強いつながりと絆を感じたといえます。震災前よりも参拝客が増えた下増田神社。高橋さんは「震災の記憶を後世に残すためにも、語り継がなければならぬ」と真剣な瞳で訴えました。(阿部杏圭)

は、こうした経験を生かして、わかりやすく楽しい番組をお届けします。お気軽にメッセージをお寄せください！

ステキなお店ができた、ワクワクするイベントがあったりすると、毎日がちよつと楽しくなりますよ。名取はそんな場所やイベントがとっても多い！ホットな情報をたくさんお届けしますので耳を傾けてみて下さい。よろしくお願ひします！



よしえ・ゆきこ

1985年1月30日生まれ。北海道札幌市出身。趣味はスポーツ観戦。0歳と2歳の姉妹の母です。



環境活動を身近に 環境マルシェ

環境活動を身近に感じてもらうイベント「環境マルシェ」(主催・尚綱学院大)が6月26日(日)、仙台市のサンモール一番町商店街アーケード通りで開催されました。



参加された皆さん

この企画は自分たちで考えて研究した環境に対する取り組みをポスターや展示物に見せることで、できるだけ多くの人に取り組みの活動を広めることを目的に今年初めて開催されました。主催者の尚綱学院大・鳥羽准教授(43)が募集し11の企業と5つの高校が参

加、自分たちが取り組んでいる環境活動について展示・発表をしました。



多賀城高の千葉さん

環境構想学科賞を受賞した多賀城高校の千葉梨花さん(16)、新田瑠奈さん(17)は、植物のマツについて、純アカマツと純黒松ハイブリットアカマツについて研究し、将来どのような遺伝子がある生物が生き残るのかについての研究成果を発表し、「自分たちで頑張った研究をしたぶん、このような賞を受賞することができてうれしいです。これからは、より強い遺伝子を研究するために、雑種植物について研究していくために、大学でより詳しく研究していきたい」と話してくれました。



泉館山高の高橋さん

一方、展示されたポスター

ーの中で最も人気のあった高校に送られるベストポスター賞を受賞した泉館山高・家庭部の発表では、日本で消費されている海外の小麦による輸入の際にかかる二酸化炭素の排出量(フードマイレージ)を抑える取り組みとして、日本の米粉を使用した料理などを展示して、研究の成果が評価されたことを受け、高橋栄璃沙さん(17)は「私たちの米粉による環境問題への取り組みを多くの人に知ってもらうことができた。米粉を題材にした研究は大変上がったが、今後米粉の需要が上がり、未来に向けて多くの市場に出回ってくれたらうれしい」と話しました。

鳥羽准教授は、今回の活動について、「皆さん、環境のことについて、ある程度まで考えながら生活しているが、意識を持ってほかの環境のことについて興味を持つことは難しい。いろいろな環境の種類についての視野を広める機会をつくり、日々私たちがしていることは社会にどのような影響を与えているか理解し、意識してくれたらうれしい。今回初めて開催して、いくつかの課題は見つかったが、来年もより多くの人に環境について意識してもらえようように続けていきたい」と抱負を語りました。(青田汐里)

お知らせ

子育て応援セミナー

「個別指導のプロが子供や孫の心の育み方をお伝えします」。河北新報グループと一般財団法人・学習能力開発財団は7月23日(土)10時から、名取市文化会館会議室でやる気のモトの育て方学力アップに役立つ「子育て子育て応援セミナー」を開催します。講師を務めるのは財団理事長で、仙台市内を中心に「個別教室のアップル」を展開するセレクトティーの社長でもある、鳥山明(はたけやまあきら)さんです。財団は子ども一人ひとりに合った学習支援方法の研究と普及を行ってまいります。

講師紹介



(はたけやまあきら) 気仙沼市出身。東北大学院修了。宮城県の教員を経て、「個別教室のアップル」代表。仙台市と東京で12教室を運営する。震災遺児らの支援を目的に2011年6月、学習能力開発財団を設立。

お申込み・問い合わせ

参加者の氏名・住所・連絡先を記入し郵送・FAXでお申し込みください。複数でお申し込みの場合は全員分が必要です。
〒980-0022 仙台市青葉区五橋一丁目1-10 第2河北ビル2F 河北新報普及センター「子育て応援セミナー」係 連絡先FAX 022(227)8333
応募締切7月13日(水) 必着お問い合わせ連絡先022(266)2991 ※応募者多数の場合は抽選になります。

増田川あれこれ

増田川の魅力を再発見し、次世代に残していく増田川の在り方を考える、地域力向上講座増田川プロジェクト「キラキラパルク増田西フォーラム」増田川あれこれ」が7月17日(日)増田西公民館ホールで行われます。



地域と向き合い、多方面から見つめることで地域への愛着を感じ、地域の抱える課題を見つめる。課題解決へ向け、地域の特性を生かした活動を通して、地域力の向上を目指す。「共に学び、共に認め合い、笑顔あふれる楽しい地域」を目指し、活動プラン(増田川で遊ぼう)を実践する。
内容は①増田川にかかる橋と自然環境(講師・大橋信彦氏(ゆりりん会代表))
②増田川の保全の在り方と生き物たち(講師・齋藤忠雄氏(森林インストラクター))
③(受付9時30分)対象は名取市民。定員なし、参加無料。お問い合わせは増田西公民館384-0055 小松直子まで。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp

プレゼント企画

皆さんからのご意見、ご感想と情報提供をお待ちしております。7月号プレゼント企画として、かほピョンとシンブンの「ココがおススメ附箋」を10名にプレゼント。住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだ感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。(住所) 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10 (ファクス) 227-8333



ハナモモ通信フェイスブックQRコード

